

守破離

剣道や茶道などで、修業における段階を示したもの。
「守」は、師や流派の教え、型、技を忠実に守り、確実に身に付ける段階。



発行日 令和4年4月11日（月） 文責 3学年主任

始業式 学年代表挨拶

S. M さん

皆さん、おはようございます。いよいよ新学期が始まりますね。春休みの間は再開した部活動に打ち込む姿や転出された先生方に感謝の気持ちを伝えている姿がありました。今日からは、新しく赴任された先生方とともに過ごしていきます。

さて、今朝の昇降口では、クラス発表を見て盛り上がりましたね。『もう3年生か…あっという間だな…』と私は思うのですが、なんと今年は古川西中最後の年です。3年生は昨年度から散々言われていた言葉かもしれませんが、西中の最後の卒業生になります。第48代卒業生として、どこに出ても誇れるようにしましょう。

前置きが長くなりましたが、私たち3年生は、努力することを惜しまない人を目指していきたいと思います。入学したばかりの1年生のときは、男女の隔たりが大きく、積極的に行動できる人がほとんどいない学年でした。2年生での行事や学年レク、日々の学級生活を通して、わずか1年で大きく変わりました。とても素晴らしいことでしたが、新たな問題も浮き彫りになってきました。それは『努力の差』です。1年生の頃、多少の違いはあったもののほとんどの人が同じようなスタートラインに立っていたはずですが、この2年間、様々な活動や日々の生活の中で、少しでも努力した人とそうでない人とを比べると、今ではその違いが明らかになっています。これは私見ですが、始めはできなくても少しでも前に出て活動しようとした人や苦手でも異性と話そうとした人、部長や委員長を務めた人は、必然的に周囲とコミュニケーションを取らなければならないし多少なりとも責任感が増したのではないのでしょうか。始めは『嫌だな』、『難しいな』と思うかもしれませんが、うまくいかないかもしれませんが、何かに挑戦をして損をすることはありません。こんな偉そうなことを言っている私も、昨年度女子バレー部の部長になるまでは、なかなか前に出ることができませんでした。部長や学年委員を務め、大きく変わることができたと思います。始めの一步が出れば、二歩目、三歩目はそれほど難しいことはありません。

今年度は西中フェスティバルのような例年の行事に加えて、閉校記念式典などの特別な行事も開催されます。より一層のリーダーシップと創造力、団結力等が求められます。特に今年は、行事のたびに「最後の…」がプラスされる1年になります。「コロナのせいで…」などと言いつけはいくらでもできますが、言い訳ばかりしていても何も変わりません。自分たちの学校生活は自分たちで充実したものにするのは可能です。



成長するスピードは人それぞれですが、努力する時間は誰でも作ることができます。1年後、卒業するときに、みんなで頑張ったという思いが少しでもあったなら嬉しく思います。私たちが重ねる努力は、形としては残らないかもしれませんが、私たち自身の心には必ず残ります。部活でも、勉強でも、学級でも精一杯努力をして、後悔しないように最後の1年を過ごしていきたいです。みんなで頑張っていきましょう。

守破離

剣道や茶道などで、修業における段階を示したもの。
「守」は、師や流派の教え、型、技を忠実に守り、確実に身に付ける段階。



発行日 令和4年4月11日（月） 文責 3学年主任